

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公表番号】特表2011-500818(P2011-500818A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-531133(P2010-531133)

【国際特許分類】

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/4025 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 409/12 C S P

A 6 1 K 31/4025

A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月17日(2011.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

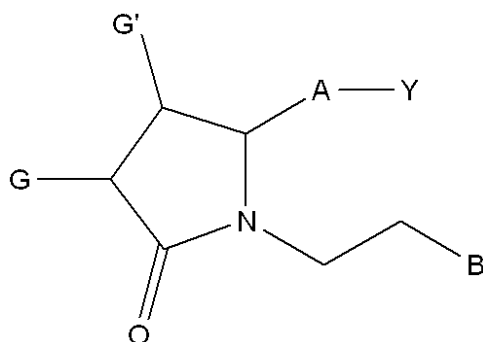
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の式を有する化合物：

【化1】



(式中、Yは、0～14個の炭素原子を有し；有機酸官能基またはそのアミドもしくはエステル；ヒドロキシメチルまたはそのエーテル；或いは、テトラゾリル官能基であり；

Aは、 $(CH_2)_6$ 、シス  $CH_2CH=CH(CH_2)_3$  または  $CH_2C \equiv C(CH_2)_3$  であり、これらにおいて、1個または2個の炭素原子は、SまたはOによって置換し得；或いは、Aは、 $(CH_2)_m$  Ar  $(CH_2)_o$  であり、式中、Arはインターアリーレンであり、mとoの和は1、2、3または4であり、1個の  $CH_2$  はSまたはOによって置換し得、1個の  $CH_2CH_2$  は  $CH=CH$  または  $C \equiv C$  によって置換し得；

GおよびG'は、個々に、H、OH、1～6個の炭素原子を有するOアルキル、ハロ、 $C_{1-6}$ アルキル、 $CF_3$ 、CNまたは=Oであり；そして、

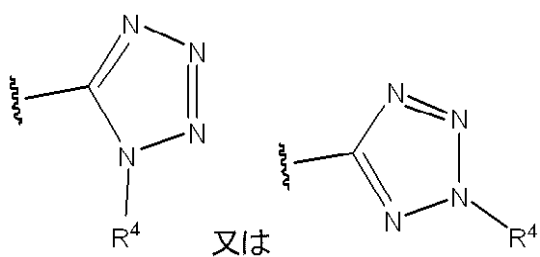
Bは、アリールである)。

【請求項2】

Yが、 $CO_2R^4$ 、 $CONR^5R^6$ 、 $CON(CH_2CH_2OH)_2$ 、 $CONH(CH_2CH_2OH)$ 、 $CH_2OH$ 、 $P(O)(O$

H)<sub>2</sub>、CONHSO<sub>2</sub>R<sup>4</sup>、SO<sub>2</sub>NR<sup>5</sup>R<sup>6</sup>、下記：

【化 2】



(式中、R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>およびR<sup>6</sup>は、個々に、H、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>ヒドロキシアルキル、非置換フェニルまたは非置換ビフェニルである)

である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】

Yが、CO<sub>2</sub>R<sup>4</sup>である、請求項 2 記載の化合物。

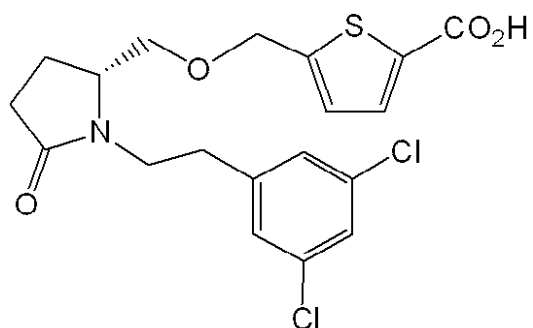
【請求項 4】

Gが水素である、請求項 3 記載の化合物。

【請求項 5】

下記の式を有する、請求項 4 記載の化合物：

【化 3】

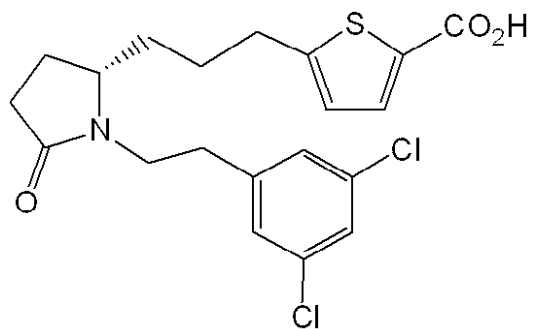


。

【請求項 6】

下記の式を有する、請求項 4 記載の化合物：

【化 4】

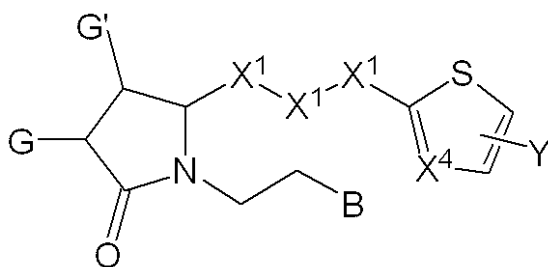


。

【請求項 7】

下記の式を有する、請求項 1 記載の化合物：

## 【化 5】

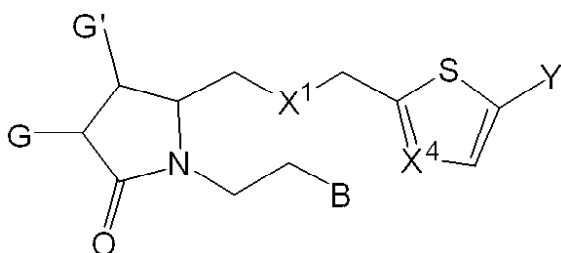


(式中、各 $X^1$ は、個々に、 $\text{CH}_2$ 、 $\text{O}$  または  $\text{S}$  であり；そして、 $X^4$ は、 $\text{CH}$  または  $\text{N}$  である)。

## 【請求項 8】

下記の式を有する、請求項 7 記載の化合物：

## 【化 6】

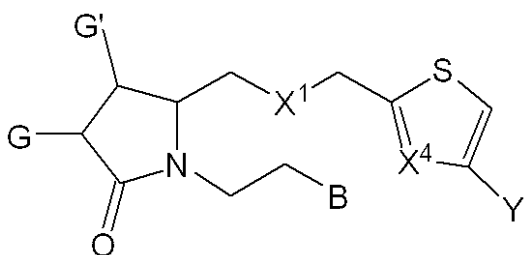


。

## 【請求項 9】

下記の式を有する、請求項 7 記載の化合物：

## 【化 7】



。

## 【請求項 10】

Gが、水素である、請求項 1 記載の化合物。

## 【請求項 11】

G'が、 $\text{H}$ 、 $\text{OH}$ 、 $\text{OCH}_3$ 、 $\text{F}$ 、 $\text{Cl}$ 、 $\text{CH}_3$ 、 $\text{CF}_3$ 、 $\text{CN}$ または $=\text{O}$ である、請求項 1 記載の化合物。

## 【請求項 12】

G'が、 $\text{H}$ である、請求項 11 記載の化合物。

## 【請求項 13】

Gが、 $\text{H}$ 、 $\text{OH}$ 、 $\text{OCH}_3$ 、 $\text{F}$ 、 $\text{Cl}$ 、 $\text{CH}_3$ 、 $\text{CF}_3$ 、 $\text{CN}$ または $=\text{O}$ である、請求項 11 記載の化合物。

## 【請求項 14】

Bが、フェニルまたはピリジニルである、請求項 1 記載の化合物。

## 【請求項 15】

Bが、フェニルである、請求項 14 記載の化合物。

## 【請求項 16】

Bが、個々に、 $\text{F}$ 、 $\text{Cl}$ 、 $\text{Br}$ 、 $\text{I}$ 、 $\text{OH}$ 、 $\text{NH}_2$ 、 $\text{NO}_2$ 、 $\text{OCH}_3$ 、 $\text{C}_1$  -  $4$ アルキル

、 $\text{CF}_3$ 、 $\text{CN}$ 、 $\text{CHO}$ 、 $\text{CO}_2\text{H}$ および $\text{CH}_2\text{OH}$ から選ばれる1～3個の置換基を有するフェニルである、請求項15記載の化合物。

【請求項17】

Bが、ジクロロフェニルである、請求項14記載の化合物。

【請求項18】

請求項1～17のいずれか一項に記載の化合物の、哺乳類の緑内障または高眼圧症の治療用医薬品の製造における使用。

【請求項19】

請求項1～17のいずれか一項に記載の化合物を含むことを特徴とする緑内障または高眼圧症の治療用医薬品。

【請求項20】

請求項1～17のいずれか一項に記載の化合物および製薬上許容し得る賦形剤を含む液体組成物。